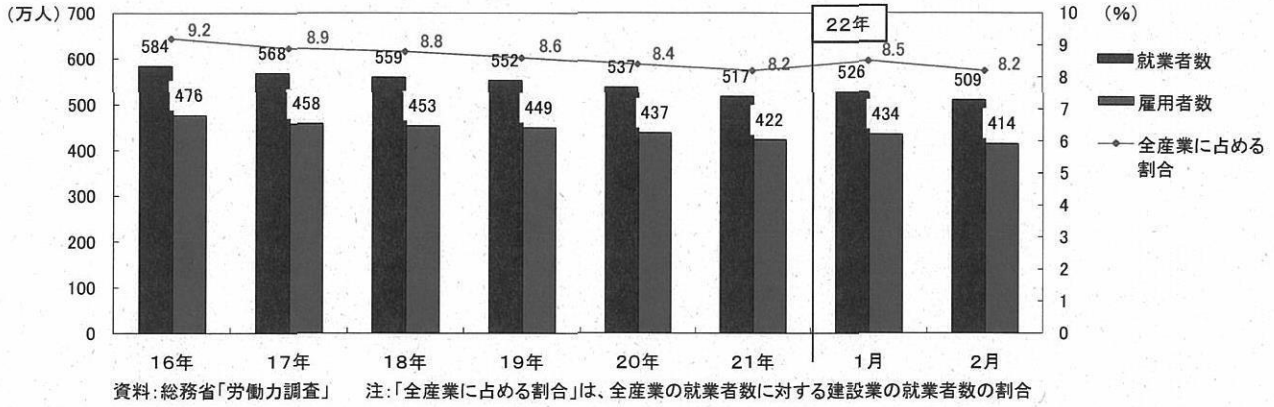
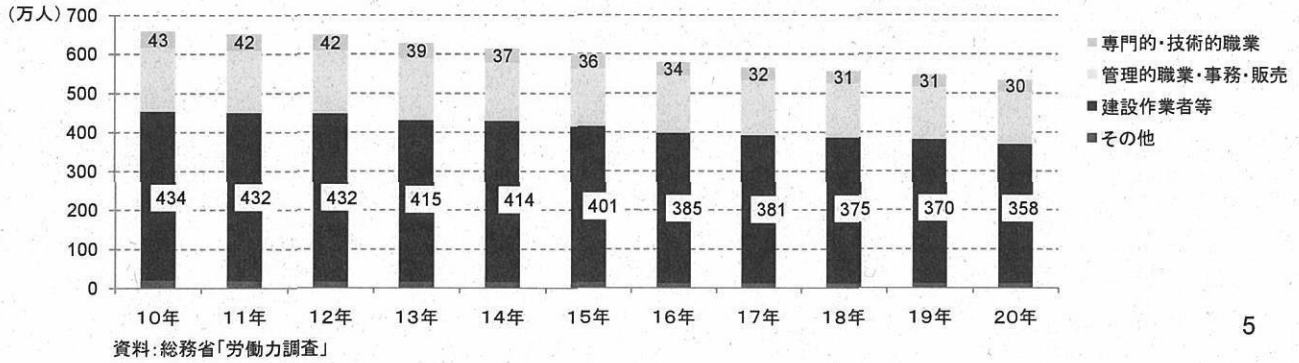


## 建設業の就業者数、雇用者数等の推移

■ 建設業の就業者数・雇用者数の推移 ～減少が続いており、全産業に占める割合も低下。



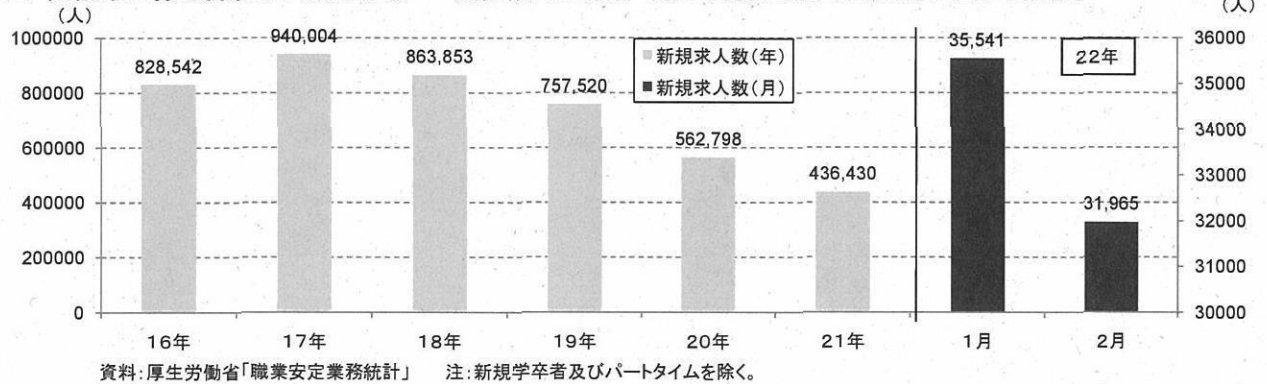
■ 建設業の職業別就業者数の推移 ～専門的・技術的職業、建設作業者等ともに減少が続く。



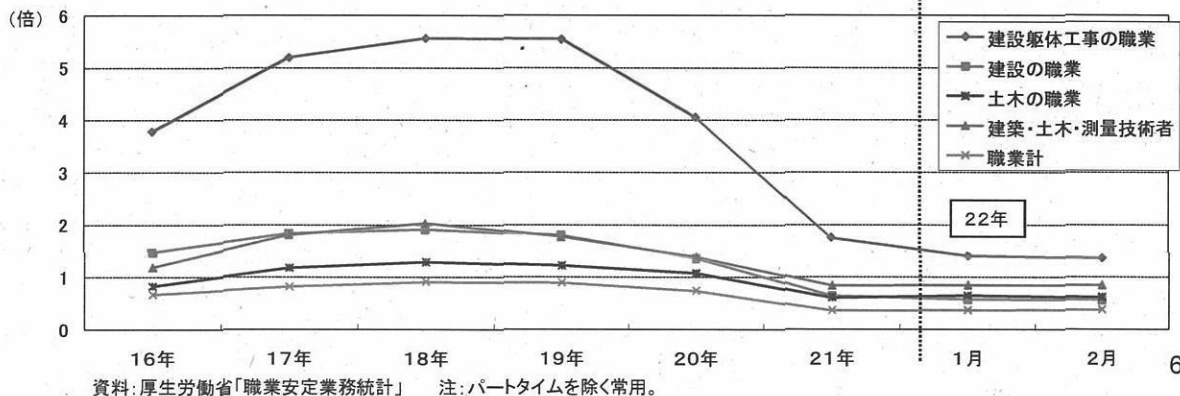
5

## 建設業の新規求人数及び有効求人倍率の推移

■ 建設業に係る新規求人数の推移 ～減少傾向が顕著であり、現在は前年同月を下回って推移。



■ 建設業に係る有効求人倍率の推移 ～職業計より高い倍率で推移していたが、近年大きく低下。

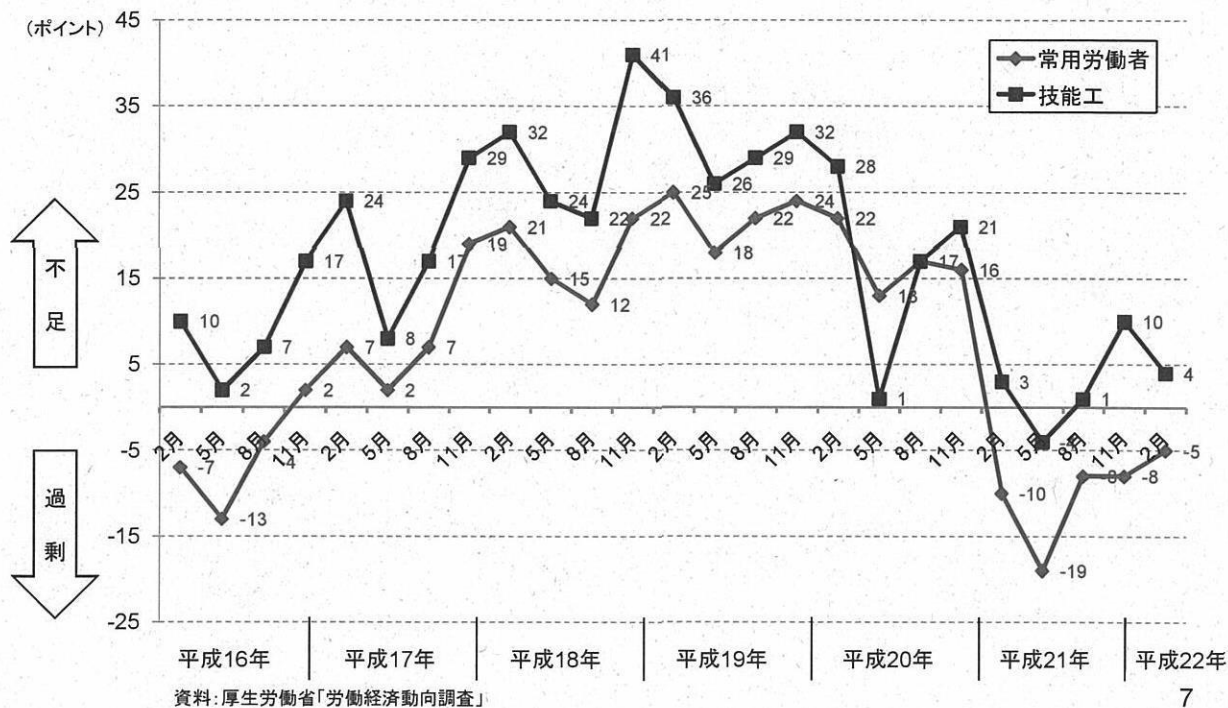


6

## 建設業労働者の過不足状況

労働者が不足と回答した事業所の割合から過剰と回答した事業所の割合を差し引いた値(D.I.値)をみると、平成16年11月以降不足とする事業所の割合が上回っていたが、平成21年11月以降は、技能工は不足しているが、常用労働者は過剰な状況。

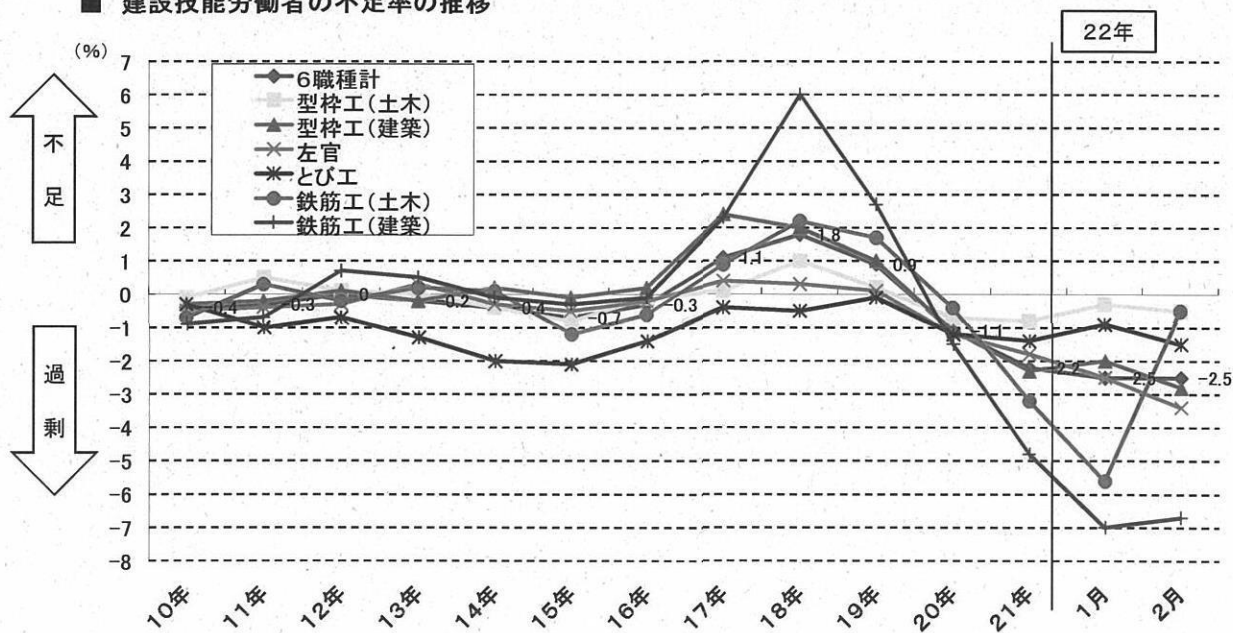
### 建設業労働者の過不足判断D.I.値の推移



## 建設技能労働者の需給状況

建設技能労働者は、職種によって一時的な過不足を繰り返していたが、平成20年には全ての職種で過剰。22年2月現在では、6職種計で2.5%の過剰となり、27か月連続で過剰となっている状況。

### 建設技能労働者の不足率の推移



注1:不足率の計算は次による。

(確保できなかった労働者数-確保したが過剰となった労働者数)/(確保している労働者数+確保できなかった労働者数)×100

2:不足率がプラスのときは労働者が不足し、マイナスのときは過剰となっていることを示す。